

十戒序論 「律法の役割と目的」

マタイ 5:17～20

2016.10.30 HKJCF

1

概観

なぜ十戒を学ぶ必要があるのか？旧約に律法が与えられた背景とその役割を理解し、律法の本当の目的について、新約にイエス様が来られた観点から一緒に学びたい。

アウトライン

1. 律法の背景: 神様の庇護に入る
2. 律法の役割: 立場と使命を認識させる
3. 律法の要求: パリサイ人の義に勝る
4. 律法の目的: イエス様と出会うために

2

1. 律法の背景: 神様の庇護に入る

- 1) アブラハムとの契約: 子孫の繁栄と土地(創世記 12:1-3, 6-7); アブラハムの子孫に対する預言の成就(創15:13-16); 神様は契約を守るお方(出エジプト記 6:5-8)。
- 2) 世代間継承の大切さ: ヨセフに助けられたことを忘れる(出 1:8-10)。神様はイスラエルの民を忘れなかった(出 2:23-25)。
- 3) 奴隷制度からの解放: 支配から恵みへ変わる(出 20:2); 恵みが先行している。本当の自由の意味を理解する必要がある。

3

2. 律法の役割: 立場と使命を認識させる

- 1) 立場を教えるため: これは宗主-臣下の契約に基づき、庇護を受けるため、条件(祝福と呪い)が記載されている(申命記 28章)。
- 2) イスラエルの使命を教えるため: 祭司の王国、聖なる国民となるため(出 19:5-6; I ペテロ 2:9)。とりなすこと、模範を示すこと。
- 3) 真の幸せを教えるため: 命の源(レビ 18:5); 長寿(申4:40); 繁栄の原因(詩篇 1:2-3); 金より好ましい(詩19:7-10; 詩119:127); 特権(詩147:19-20)。何が変わった？

4

3. 律法の要求: パリサイ人の義に勝る

- 1) バビロン捕囚後: 律法に立ち返る運動。パリサイ派の誕生。恵みを忘れ、律法→重荷に変わった(ルカ 11:46)。
- 2) 行為義認は無駄: 義のレベルはパリサイ人でさえ達成できない(マタイ 5:48)。達成できないギャップを受け取る＝罪意識。
- 3) 達成できないことが前提: 「一点一画」＝100%の完全さが求められる(マタイ 5:18)。だからイエス様は律法を成就させるために来られた(マタイ 5:17)。

5

4. 律法の目的: イエス様と出会うために

- ① 達成させて下さるお方と出会うため
イエス様を信じる、「信仰によって生きる」ことが大事(ガラテヤ 3:10-11)。

適用

- ② 御霊に頼り、律法を守る模範となる(V19)
肉ではなく、御霊に頼る生き方を見せる。
- ③ 律法を守るように、伝えていくため(V19)
先に恵まれた者は、恵みを分かち合っていくことは神様の御心で、偉大な者となる秘訣。

6